

古屋和子よみ語り

浅田次郎作 『天切り松闇がたり』より

衣紋坂から

いよいよ円熟してきた
語りの妙手
6年ぶりの出演!

時は大正、帝都東京に花開くデモクラシーの新世界。世の闇を街灯が切り裂き、江戸前の人情も旧弊となじられる無粋な世に、盗られて困らぬ天下のお宝だけを狙い、貧しい人々には救いの手をさしのべる、江戸の昔の職人芸を今に伝える義賊、目細の安吉一家。何の因果かその一門に弟子入りした村田松蔵。後に関東大震災と第二次大戦を生き延びて、昭和の世に「天切り松」の異名を轟かす「最後」の盗賊が、腐れ切った平成の世に言わずもがなの説教兼昔話を、夜更けの留置所で語りだす。

『衣紋坂から』はろくでなしの親父に吉原へ売られた姉との再会ものがたり。偶然に仲良くなった吉原・左門字の息子・康太郎の協力で、松蔵は姉をようやく苦界から救い出せたのだが・・・

2009年11月14日(土)

■会場：普門精舎（稲城市大丸857）

■開演：午後6時 ■チケット2,000円（50席限定）

※お問い合わせ：TEL 042-378-1707